

《 国際セミナー 》 スマート・ユニバーサルデザインのまちづくり

主催：中央大学研究開発機構 秋山研究室、日本福祉のまちづくり学会（国際委員会・事業委員会）
共催：大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻、交通エコロジー・モビリティ財団、
都市計画コンサルタント協会

新しい都市のステージとして、ボトムアップの計画・複合領域を同時に考える計画・情報により都市の成長管理はどのように変わるか？英国でこの3月に開催され各国40人で議論した都市のあり方を紹介します。

会議のタイトル「Disrupting Cities Through Technology」において議論された「技術を通じた都市の変化(混乱・歪・新たな変化と可能性)を読み解く」について、秋山がそのダイジェストを紹介します。さらにMITの都市・コミュニティや情報にかかわる研究者のお二人には、参加型の計画と情報との関連で人の行動を扱う研究をご紹介します。

■日時 2016年5月22日(日) 13:00~17:00

■場所 中央大学 6号館 6701教室(文京区春日 1-13-27) 東京メトロ 丸の内線 後楽園駅

■内容 日本語の逐語通訳が付きま

13:00~13:10	開会挨拶	日本福祉のまちづくり学会国際委員会 北川博巳委員長 交通エコロジー・モビリティ財団 松原淳
13:10~13:30	都市のスマート化と新たな計画の糸口・歪について	中央大学研究開発機構教授 秋山哲男
13:30~14:20	City Scoping: (シティ・スコーピング) ※City Scoping: (シティ・スコーピング): 複雑化した新しい街の計画にコンピュータにより参加型まちづくりの手法を用いて計画を作り上げてゆく方法論について。	米国マサチューセッツ工科大学 Ira Winder 氏
14:30~14:40	コメンテーター	大阪大学大学院工学研究科 猪井博登
14:40~15:00	休憩	
15:00~16:00	Changing Place (場の変更: モビリティ・マネージメントに近いこと) ※人の行動変容を技術・テクノロジーで解読し、あたらしい都市の在り方を模索する	米国マサチューセッツ工科大学 Agnis Stible さん
16:00~16:10	コメンテーター	交通エコロジー・モビリティ財団 岡本英晃
16:10~17:00	討論	コーディネーター (北川博巳、猪井博登)
17:00~17:10	閉会挨拶	日本福祉のまちづくり学会事業委員会 水村容子委員長

■参加費： 学会員: 1,000、非会員 2,000 円(当日受付にて徴収します)

■申し込み： 氏名、所属、連絡先(メール)、電話を記入の上、秋山哲男までメールでお申し込みください。
aki@k08.itscom.net : 締め切り 5月15日(50名で締め切ります)

■講師紹介

Ira Winder : MIT 都市計画修士 Research Scientist, City Scope Project, MIT media Lab. 日本の楨設計事務所に数年在籍し、日本の建築に携わる。現在は MIT で研究を続けているまちづくりと情報などの複合領域で研究を続けている。

Agnis Stible : Postdoctoral Associates、現在 MIT に在籍し、心理学、情報などをベースにまちづくりの新たな方向を模索する研究に専念している。

■交通アクセスマップ



■キャンパスマップ

